

市役所 あれやこれや

2010

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

10.17(日) 夜須川をきれいに!



「夜須町の真ん中を流れ、夜須のシンボルでもある夜須川の土手に散歩道をつくろう!」を合い言葉に夜須川一斉清掃を実施しました。参加者は、近隣住民やボランティア約270人。

天候にも恵まれ、参加者たちは朝早くから土手の草刈りに汗を流し、みるみるうちにきれいな散歩道ができました。

夜須支所 ☎ 55-3141

10.12(火)~24(日) 大阪府泉大津市へ職員派遣



10月12日から24日までの2週間、市防災対策課の中川正資主幹が、大阪府泉大津市危機管理課で実務研修を行いました。

泉大津市とは、市町村広域災害ネットワーク災害時相互応援協定を締結しており、昨年から人事交流が始まっています。研修では、高知県の災害特性などを研修先の職員に説明。最終日に行われた市の総合防災訓練では、参加者に簡易トイレの組み立て指導などを行い、災害時の応援態勢の確認などを行いました。



防災対策課 ☎ 57-8501

10.20(水) 21業者と災害協定を締結

市は、市内に本社を置くガス、電気、上下水道、土木など21事業所で組織する「香南市建設産業関連協会(岡崎隆会長)」と、災害時の応急対策活動に関する協定を締結しました。同協会は、大規模災害を想定した援助活動や、地域住民の安全を守るために防犯活動を進めようと、今年9月に設立。



この協定によって、今後予想される南海地震や台風災害が起きた場合に、市が同協会に対して資機材輸送や廃棄物処理などを要請することができます。

防災対策課 ☎ 57-8501

10.31(日) 赤岡町解放のまつり



市民、各種団体が一堂に集まり、部落差別をはじめさまざまな差別をなくし、人権思想の確立をめざすことを目的に「第28回赤岡町解放のまつり」が赤岡市民館で開催されました。

第1部では、小・中・高校生の人権作文の発表や各団体の発表、赤岡中学校吹奏楽部の演奏。第2部では、若杉子ども会の活動発表や、赤岡の伝承文化である盆踊り「みつ・たんば・絵島」が披露されました。



また、第3部では「反省猿」で一躍有名となった太郎・次郎ショーが行われ、ぴったりと呼吸が合った素晴らしい演技に、会場は感嘆と笑いの渦に包まれました。ショーの後は、『「橋はかかる」～被差別部落に生まれ育って～』と題して村崎太郎さんの講演が行われました。講演では、自らの被差別体験をとおして部落差別の不合理や差別をなくすために努力したことなどから、「運動を続けることによってお互いの心に『橋はかかる』と信じて活動が続いている」と参加者に訴えられました。

人権課 ☎ 57-8507

11.16(火)~19(金) 八重瀬町議長らが表敬訪問

沖縄県の姉妹都市、八重瀬町の知念昭則議長らが香南市役所を訪れました。今回の訪問は、9月の八重瀬町議会議員選挙後、新体制となって初めて。会合では、改めて今後の交流などについて話し合われました。また、市内視察では、香我美町浅上王子宮の「秋の大祭」を見学したり、本庁のミカン狩りを体験するなど、親交を深めました。



▲収穫したミカンは、約500個。本庁1階総合受付前で来庁者に配られました。

◀本庁のミカンを収穫する八重瀬町の知念議長(手前)と福島正惟副町長(奥)

企画課 ☎ 57-8503

ものづくり体験の玉手箱!

ものづくりフェスタ



11月7日(日) ポリテクカレッジ高知で、学校の活動やものづくりの楽しさを紹介する「ものづくりフェスタ」が開催されました。この日は、あいにくの雨模様でしたが、詰めかけた来場者は、屋外テントや各教室などに設けられたものづくり体験コーナーで、企業や学生の話の聞いたり、実際にものづくりに挑戦するなど、思い思いに楽しんでいました。

また、体育館では中学生によるロボット競技大会も開催。さまざまなアイデアの手作りロボットが登場し、操作する中学生の真剣な表情が印象的でした。



▲不要になったCDで時計づくり

大規模災害に備え連携強化図る

中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練



▲橋梁倒壊事故救出訓練

10月21日(木)・22日(金)のいちふれあいセンターや高知新港などで「中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練」が開催されました。緊急消防援助隊は、被災地の消防力のみでは対応困難な大規模災害が発生した際、全国各地から被災地に派遣される応援部隊。南海地震が発生したとの想定で、被災状況把握のための情報収集・伝達を行う図上訓練や、ビル倒壊による救出訓練などを行いました。約500人の参加者は、関係機関と連携しながら真剣な表情で指示を確認し、救助活動に取り組んでいました。

色鮮やかに咲き誇る 懸崖菊 城山公園 懸崖菊

香我美町山北の城山公園で、懸崖菊が今年も見事に咲き誇り、見ごろを迎えました。『懸崖菊』のアーチを通り抜けると、そこはまるで別世界。見渡す限り、白、黄、ピンク…色とりどりの菊が広がります。また、地域の方々により、香我美中学校、山南公民館、夜須町文化祭などでも展示されていました。手間と時間をかけ、愛情こめて育てられた懸崖菊は、今年も各地域で訪れたたくさんの人々の目を楽しませてくれたことでしょう。

